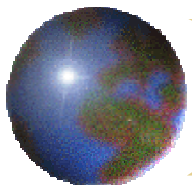


2005年3月期
(第73期)
中間決算説明会

2004年11月15日

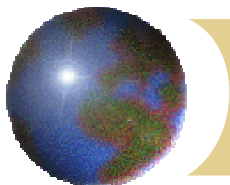
NEC
NECシステム建設



目次

I. 2005年3月期 中間決算概要

II. 2005年3月期 通期業績見通し



I. 2005年3月期 中間決算概要

上期の市場動向

◆一般企業

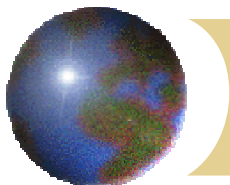
- ・ ネットワーク関連投資が回復傾向
→ VoIP化、ブロードバンド化、セキュリティ等

◆自治体・官公庁

- ・ e-Japan関連投資の先送り

◆通信業

- ・ 移動体関連投資は下げ止まり
- ・ 法人の囲い込みが拡大



I. 2005年3月期 中間決算概要

上期の事業環境

◆NI・サポートサービス分野

- ・IPテレフォニー、セキュリティなどの拡大
- ・サポートサービスはネットワークのアウトソーシング関連が増加

◆通信工事分野

- ・国内は堅調に推移、
海外は低水準

【事業セグメント区分】

当中間期より事業セグメント区分を以下に変更。

NI(ネットワークインテグレーション)・サポートサービス事業
通信工事事業
機器等販売事業

I. 2005年3月期 中間決算概要

- ・ 受注高5.4%増、売上高5.1%増
- ・ NI・サポートサービス事業の受注は前年比13.5%の成長
- ・ 利益は計画値を達成



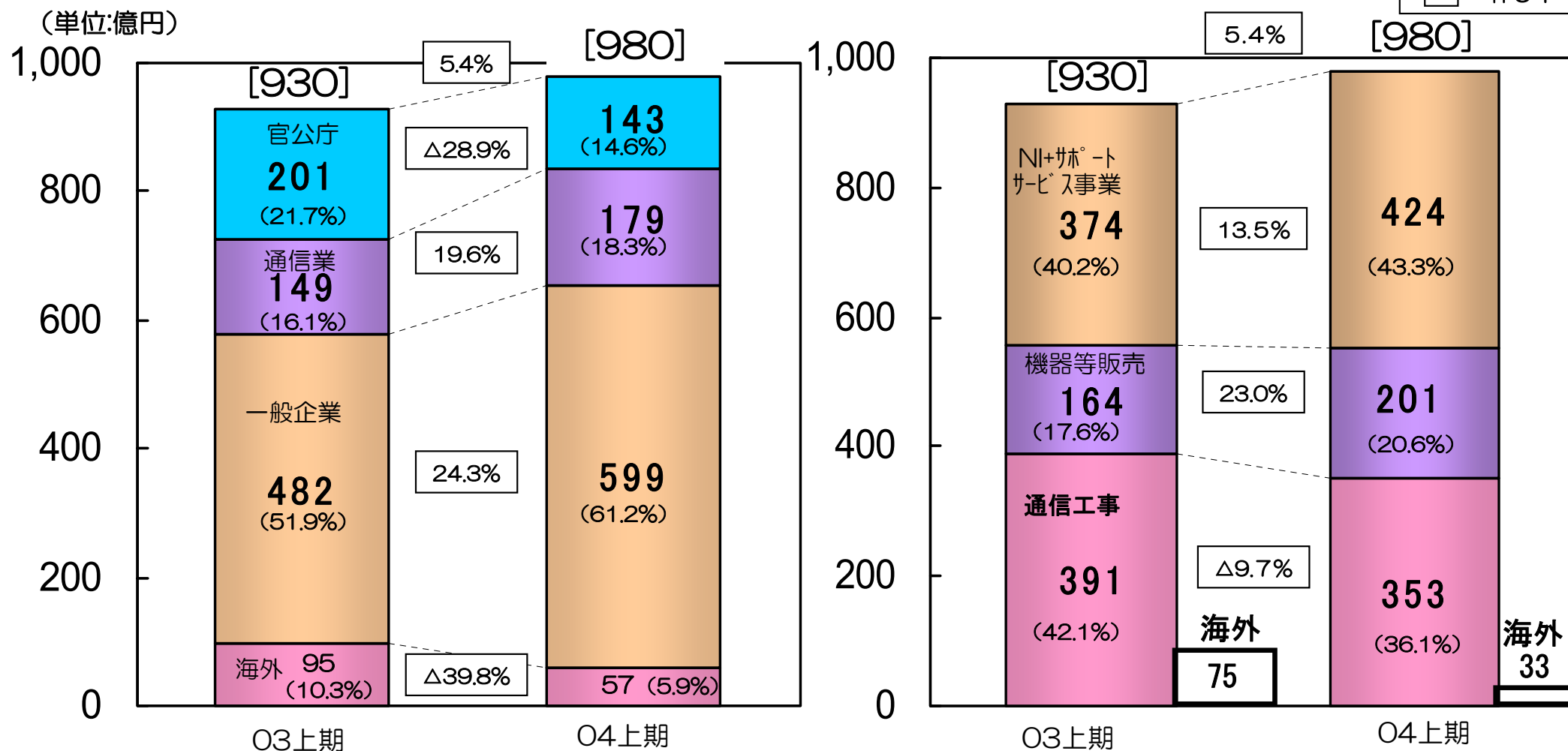
I. 2005年3月期 中間決算概要

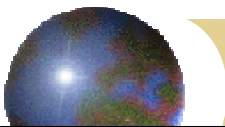
- ・前年度下期から注力した提案活動の強化、また、一般企業のネットワーク関連投資が堅調に推移したことにより、NI・サポートサービス事業やそれに伴う機器販売が増加。
- ・通信工事事業は、海外工事の減少による。国内については、過去数年減少が続いたが下げ止まりの傾向。

●受注高（連結）

【国内伸び率 10.6%】

() 構成比
□ 伸び率





I. 2005年3月期 中間決算概要

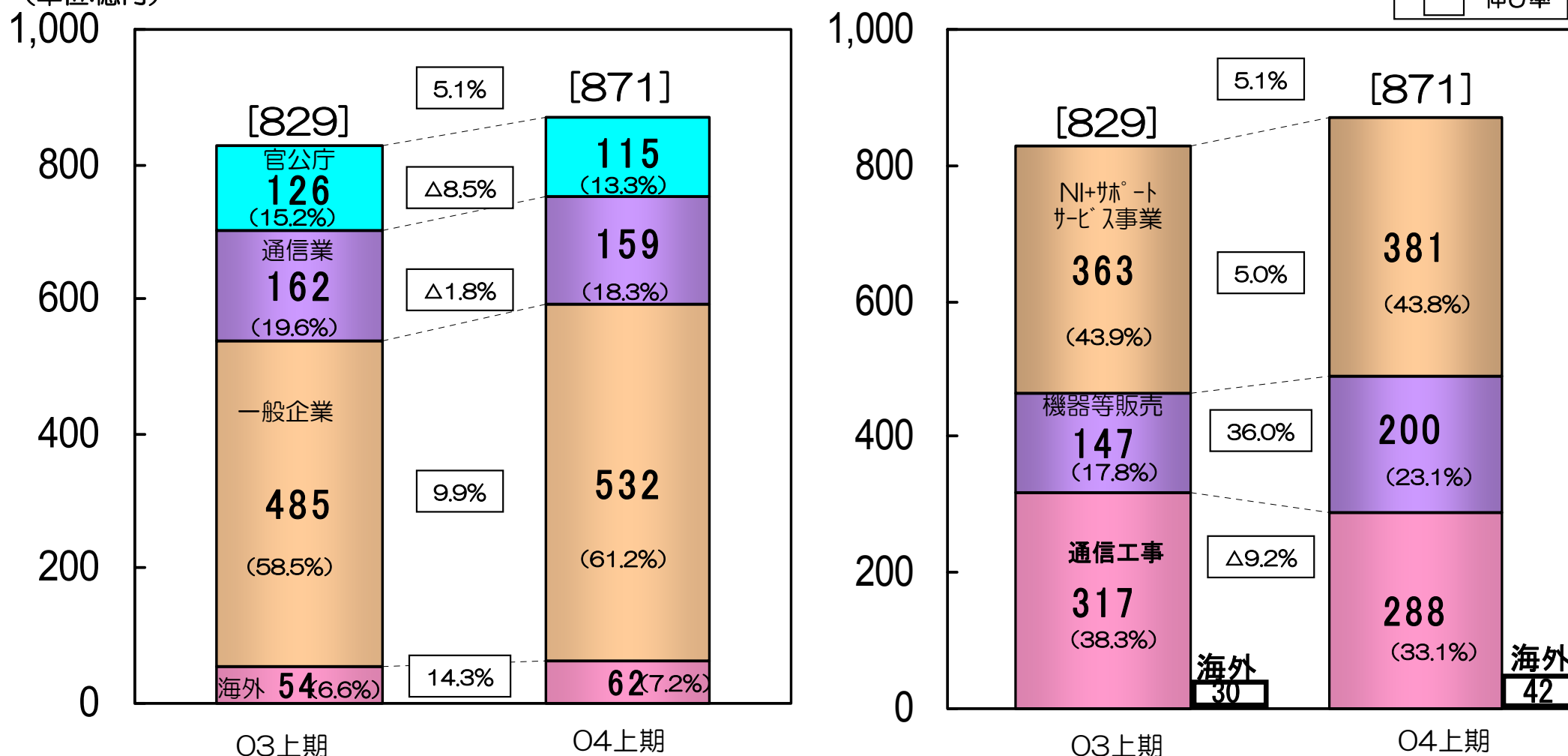
- ・一般企業のネットワーク関連投資が堅調に推移したことにより、NI・サポートサービス事業やそれに伴う機器販売が増加。
- ・通信工事事業は移動体向け基地局工事が増加したものの、e-Japan関連の先送りにより減少。

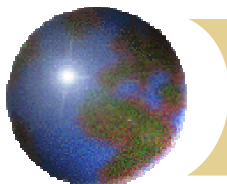
●売上高（連結）

【国内伸び率 4.4%】

(単位:億円)

() 構成比
□ 伸び率



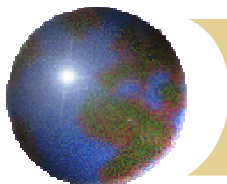


I. 2005年3月期 中間決算概要

損益計算書（連結）

（ ）は売上比（単位：百万円）

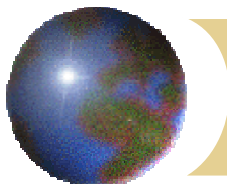
	04上期	03上期	増減率	04上期 【当初計画】	増減率 (当初計画比)
受 注 高	98,037	93,030	5.4 %	92,000	6.6 %
売 上 高	87,132 (100.0%)	82,921 (100.0%)	5.1 %	84,000 (100.0%)	3.7 %
売上総利益	9,997 (11.5%)	9,876 (11.9%)	1.2 %	—	—
営 業 利 益	1,781 (2.0%)	1,543 (1.9%)	15.4 %	1,550 (1.8%)	15.0 %
経 常 利 益	1,779 (2.0%)	1,557 (1.9%)	14.3 %	1,450 (1.7%)	22.7 %
当 期 利 益	251 (0.3%)	73 (0.1%)	244.1 %	100 (0.1%)	151.0 %



I. 2005年3月期 中間決算概要

(参考) 業容別売上高総利益率 (連結)

業容	O4上期 (実績)	O3上期 (実績)	増減率
NI・サポートサービス事業	14.6%	14.2%	0.4%
機器等販売事業	2.8%	6.2%	△3.4%
通信工事事業	13.4%	12.0%	1.4%
全 社	11.5%	11.9%	△0.4%



I. 2005年3月期 中間決算概要

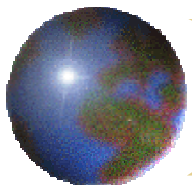
貸借対照表（連結）

【百万円】

	2004年 9月末	構成比	2003年 9月末	構成比
流動資産	86,480	80.2%	89,889	81.3%
固定資産	21,374	19.8%	20,613	18.7%
流動負債	43,527	40.4%	47,195	42.7%
固定負債	12,942	12.0%	10,917	9.9%
負債合計	56,470	52.4%	58,112	52.6%
少数株主持分	463	0.4%	565	0.5%
資本合計	50,920	47.2%	51,825	46.9%
資産合計	107,855	100.0%	110,503	100.0%

Ⅱ. 2005年3月期の業績見通し

上期の増加を通期計画に反映
下期はほぼ当初計画通りと見込む



下期の事業方針

迅速かつ有機的な連携活動
II コアコンピタンス

①全国対応営業力

・ 52拠点

②システムインテグレーション力

・ 設計、工事
・ プロジェクトマネジメント資格
保有者国内トップクラス

③ソフトウェア開発力

・ パブリックネットワーク関連ソフト、
モバイル端末ソフト、その他デジタル
機器ソフト

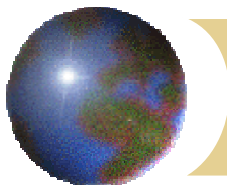
④全国保守対応力

・ 保守 …… 239拠点
“ネットワーク保守分野で国内最大”

プラットフォーム
(NEC/他ベンダー)

音声・データ・画像等を中核にした
ネットワークインテグレーション事業

1. 営業力強化
2. NI・サポートサービス事業の強化
3. 通信工事事業の再強化
4. CS活動の強化
(お客様第一主義)
5. コスト競争力の再強化



【参考】NECシステム建設 組織概要

お 客 様

(営業・技術・保守部門)

《地域事業本部》

約700人

《営業統括本部》

(営業部門)

約400人

(技術部門)

《ネットワーク事業本部》

約650人

(技術・保守部門)

《S・I&サービス事業本部》

約900人

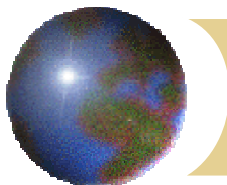
コーポレートスタッフ 約180人

資材・技術スタッフ 約70人

国内関係会社
3社 約400人

海外関係会社
5社 約950人

グループ総人員 約4,280人 (04年3月末)
(内：単独 約2,960人)



Ⅱ. 2005年3月期 通期業績見通し

下期の市場見通し

◆一般企業

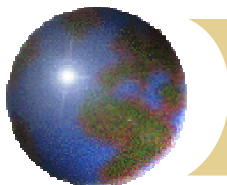
- ・ ネットワーク関連投資は引き続き堅調
- ・ 地上デジタル放送はローカル局展開が本格化（東名阪は一巡）
- ・ CATVは地方で堅調（e-Japan関連含む）

◆自治体・官公庁

- ・ e-Japan関連市場が回復（年間では上期影響により前年比微増）
- ・ 防犯、防災関連需要が増加

◆通信事業者

- ・ 移動体通信設備投資は堅調
 - 通話品質向上対策（エリア拡大）の継続
 - ボーダフォンの国内戦略に注視
- ・ キャリアの法人囲い込み競争が進展



Ⅱ. 2005年3月期 通期業績見通し

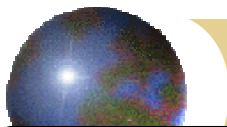
下期の事業環境見通し

◆NI・サポートサービス分野

- ・ VoIP、セキュリティ、ユビキタス、防犯・防災関連が増加
- ・ サポートサービスはネットワークのアウトソーシングやキャリアの保守等が拡大

◆通信工事分野

- ・ 国内：地上デジタル放送や、e-Japan関連市場が回復
- ・ 海外：NECグループの展開が準備段階であり、当面は回復を見込めず



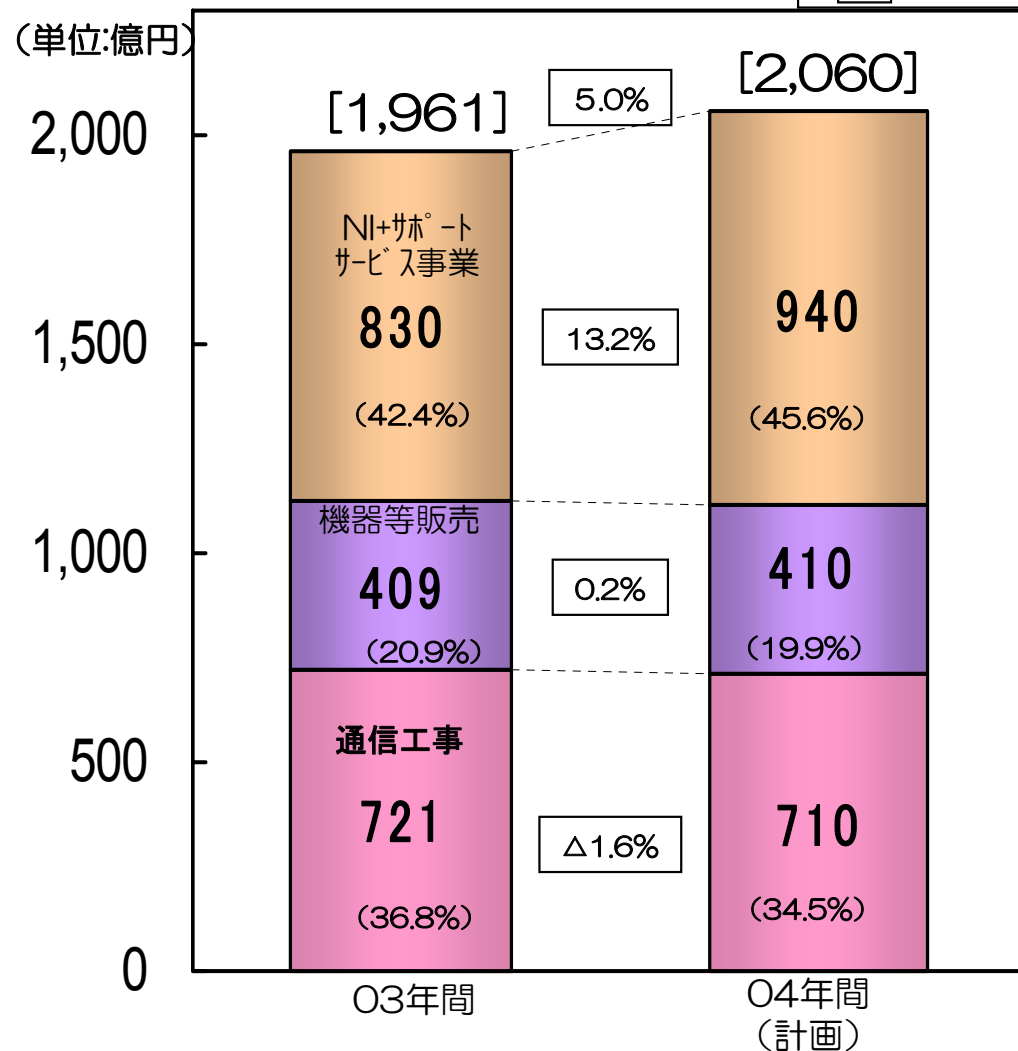
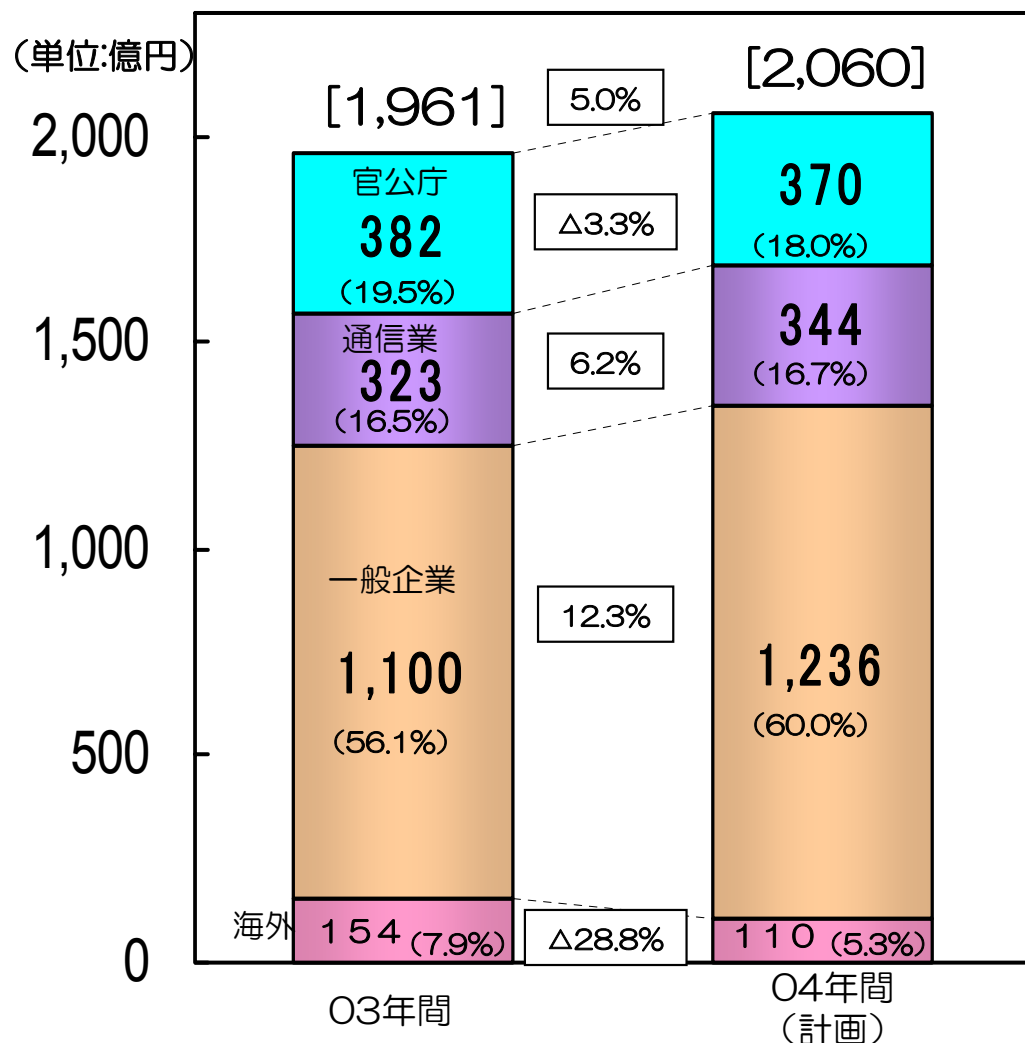
Ⅱ. 2005年3月期 受注高 (計画)

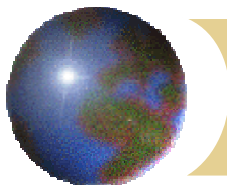
- ・ 国内は、一般企業向けは引き続きNW構築が堅調に推移。また移動系投資の回復や地上デジタル放送関連のローカル局展開の本格化に伴い、NI・サポ・サービス事業および通信工事事業が増加。
- ・ 海外向け通信工事事業は減少。
- ・ 機器等販売は、下期は減少するものの、上期の増加の影響により横ばい。

● 受注高 (連結)

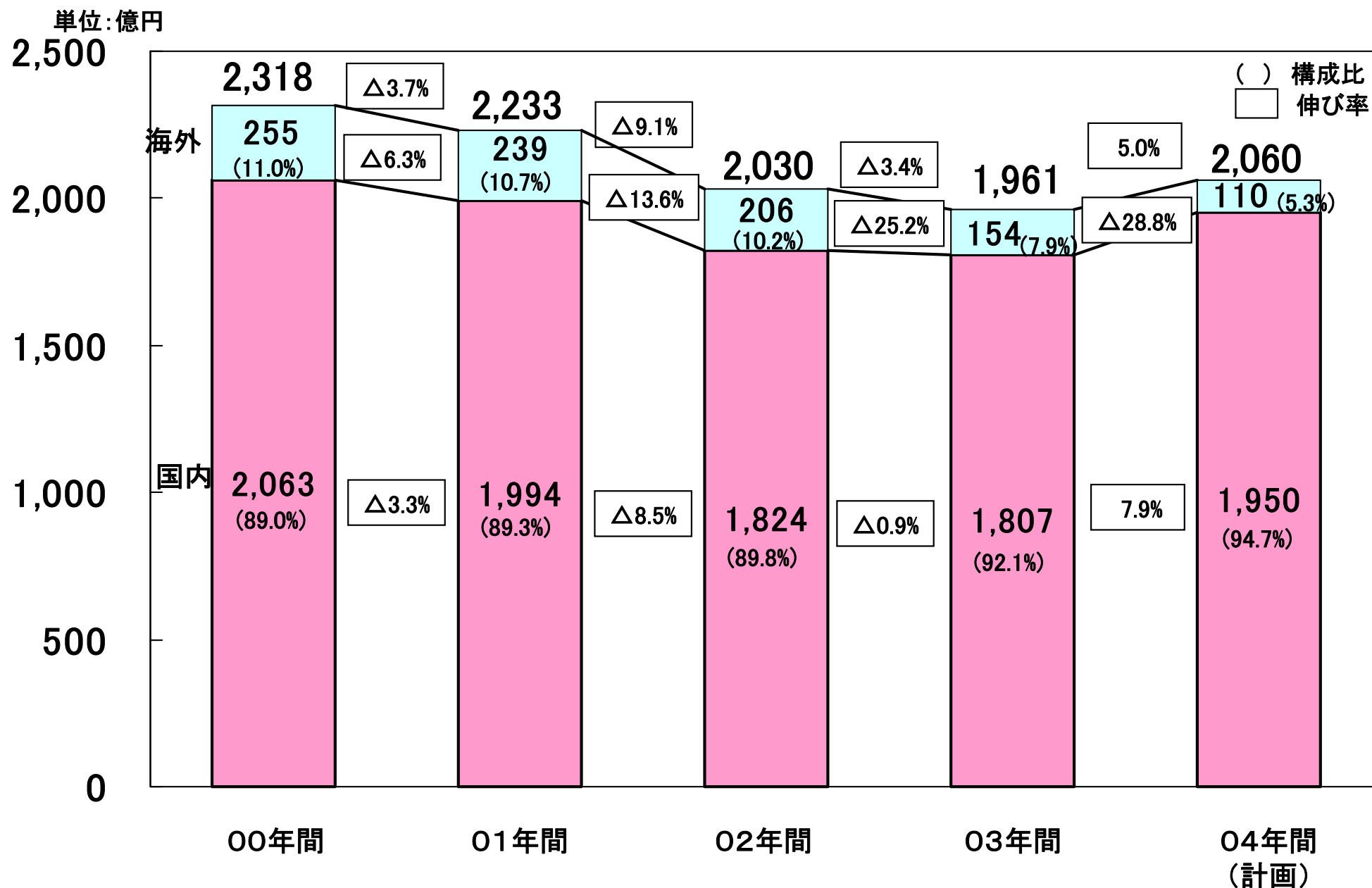
【国内伸び率 7.9%】

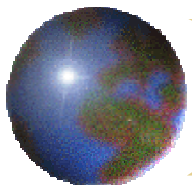
() 構成比
□ 伸び率





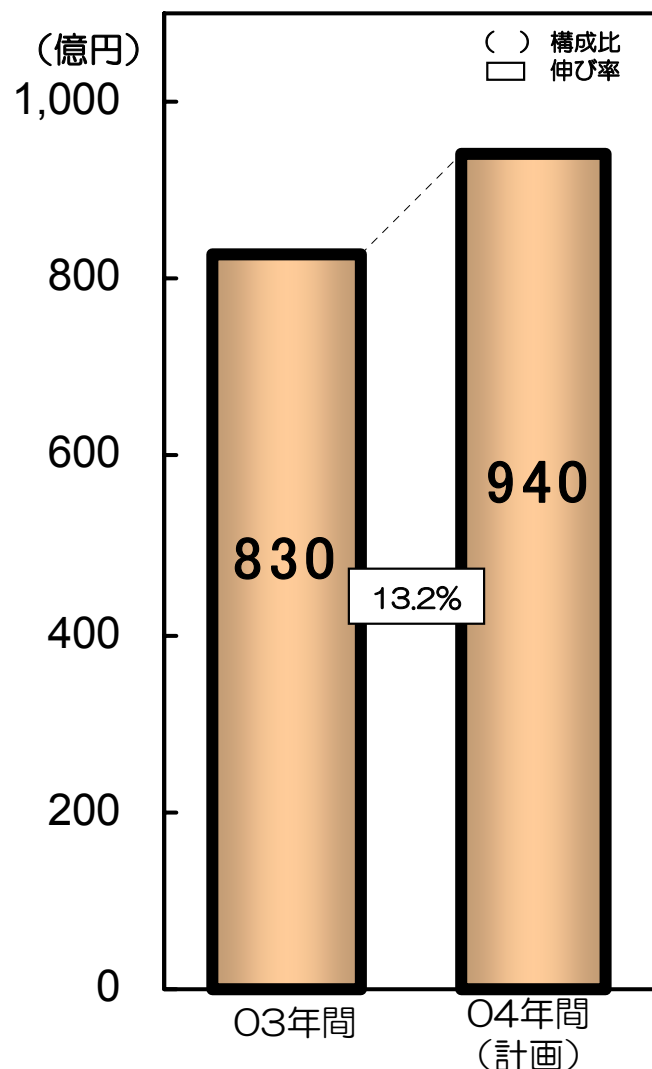
【参考】受注高の推移（国内/海外）





NI・ネットサービス事業の下期施策

●受注高（連結） ＜NI・ネットサービス事業＞

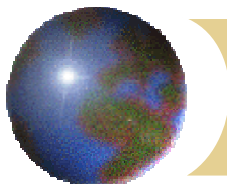


ネットワークインテグレーション分野

- ・ 営業力強化
 - 直販力強化
 - 協業ビジネスの拡大（NECグループ、キャリア、ベンダー等）
- ・ NECのUNIVERGEシリーズ拡大
 - IPテレフォニー、モバイルIP、セキュリティ等
- ・ ネットワークに関連するITシステムの拡販
 - 自社システム開発力、マルチベンダー対応力の強化
- ・ ソフトウェア事業の拡大

サポートサービス分野

- ・ 新規分野拡大
 - キャリア等との協業によるアウトソーシング事業の拡大
- ・ 当社データセンター（SDC）を4月に開設
 - サービスメニューの拡充による事業の強化、拡大

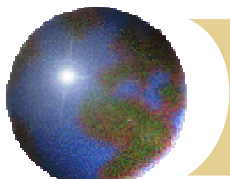


UNIVERGEについて

- ・企業ネットワーク向けの、NEC「IT・ネットワーク統合ソリューション」を支える製品ファミリー。
- ・業務やコミュニケーションを、より便利で効率的なものにすると同時に、よりセキュアなネットワーク環境を実現する、NECの戦略商品群。
- ・いつでもどこでも必要な情報に、安全、確実にアクセスできるユビキタスネットワークを実現。

UNIVERGE製品群

ソフトウェア	E I P（企業情報ポータル）関連 ・スターオフィス21 ・ユニファイドコミュニケーション セキュリティ関連 ・ネットワーク侵入防止システム、パッチ管理(CapsSuite) ・接続監視(WebSam SecureVisor) など
ハードウェア	I Pテレフォニーサーバ関連 ・SV7000シリーズ、iExpress5800 無線・モバイルI P関連 ・WLシリーズ、MBシリーズ ネットワーク関連 ・高速アクセスルータ（IXシリーズ） ・マルチレイヤスイッチ（I P8800シリーズ） ・L2、L3スイッチ セキュリティ関連 ・内部不正ワーム ・ネットワーク侵入防止システム ・SSL VPNアプライアンス など
端末群	・I P電話機(IPterm85) ・ソフトフォン(DtermSP20/30) ・S I P電話機(NEterm50) ・無線I P電話機 ・PHS電話機(Carrity-Ns) ・Vo I P G a t e w a y (MG3000 IPMASTER) など



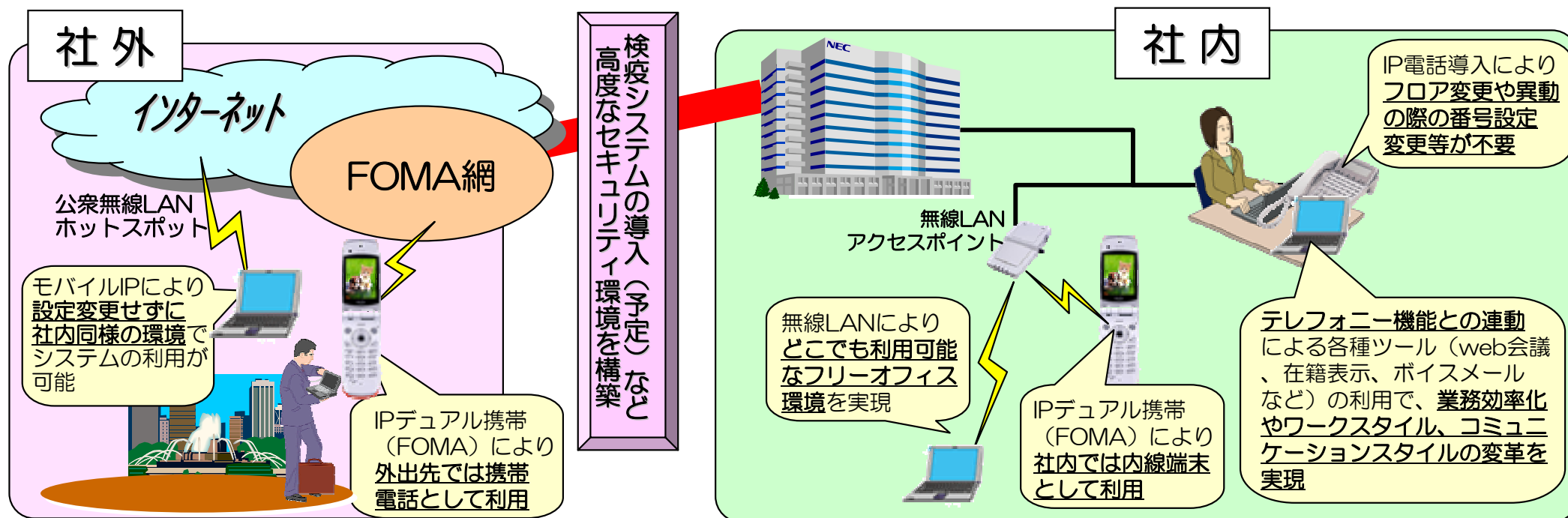
【参考事例】ネットワーク分野

IPテレフォニー、FOMA連携によるモバイルネットワーク

8月より、当本社に最新のネットワーク環境を構築。

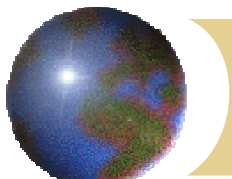
お客様へのシステム提案における実証のほか、運用ノウハウの蓄積を図る。

- NEC UNIVERGEシリーズをベースとした最新のネットワーク環境を構築
- 社内外で、PC設定の変更せずに、セキュアな環境で各種システムにアクセスが可能
- 最新ネットワークのモデルオフィスとして、新規ビジネスの創出や運用ノウハウを蓄積



※ 検疫システム：社内網への接続時に、必ず隔離されたネットワークで検疫（ウイルスソフト更新・OSのパッチ適用等）し、update後に接続を許可するシステム併せて、LAN認証技術や不正侵入防御システム等との連携により、不正アクセス、ワーム被害の確実な防止が可能

※ FOMAは、NTTドコモの登録商標です。

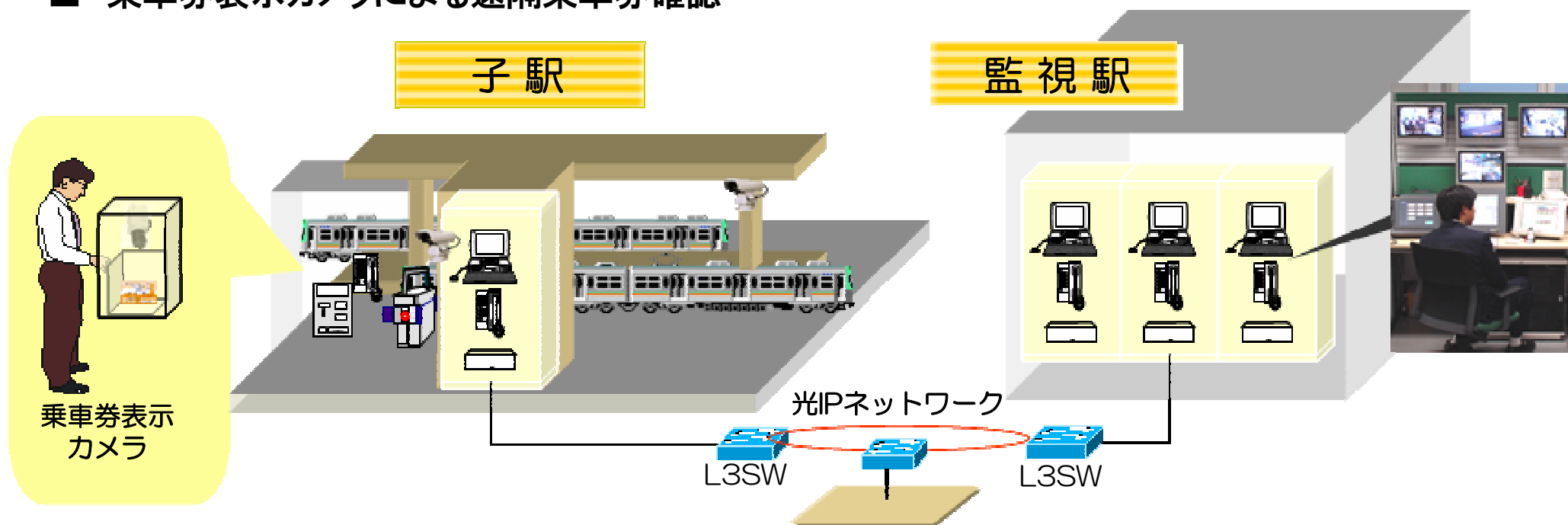


【参考事例】ネットワーク／IT分野

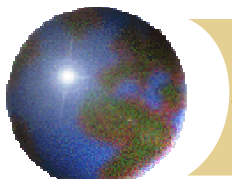
集中駅務監視システム(50駅へ導入済み)

**私鉄業界で初めて、駅務システムのバックボーンにIPネットワークを活用。
駅業務を効率化するとともに、セキュリティ向上、旅客サービス向上を実現。**

- 鉄道に初めてIT技術(IPネット+センシング技術)を導入し、お客様と画像を見ながら各駅の対応が可能
- 監視駅からCCTV、インターホン等による複数の無人駅の遠隔監視
- 駅務機器(券売機、改札機)の一括収入データの収集とエレベータ遠隔制御(バリアフリー対策)
- 乗車券表示カメラによる遠隔乗車券確認



※センシング技術:人間の存在を感知し、カメラ等各種システムが起動する技術。



【参考事例】ネットワーク／ＩＴ分野

遠隔踏切監視システム

映像・ネットワーク技術とＩＴ技術の融合により、安全確保、踏切監視業務の効率化とコスト削減を実現

- 路線図に沿った操作により該当映像を検出。
- 踏切に設置されたカメラによる集中監視及び、放送による警告
- 各種警報装置との連動により踏み切りの状況を即座に把握
- IP技術によりどこからでも監視及び、放送可能

踏 切

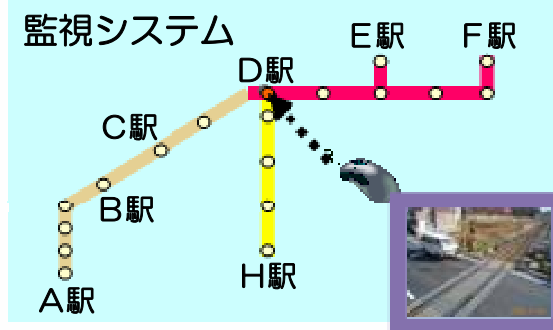
監視カメラ

スピーカー

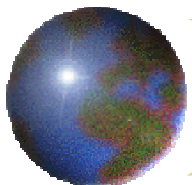
監視 駅

カメラサーバ

既存敷設ネットワーク等

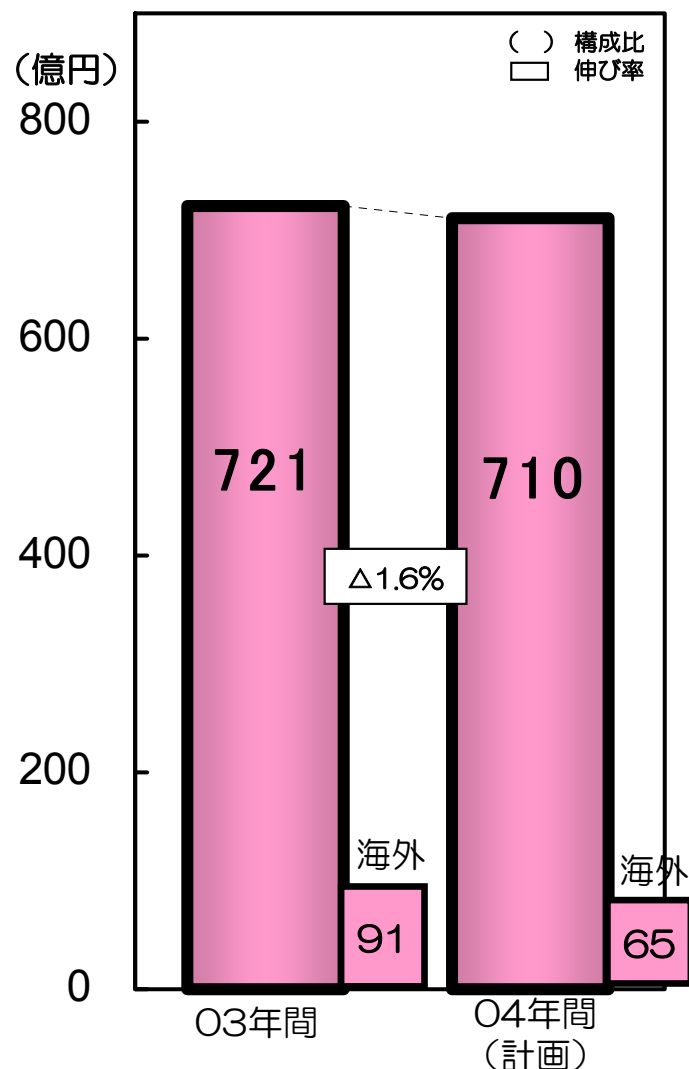


クリックにて簡単に表示
駅を切り替え
(タッチパネル可能)



通信工事事業の下期施策

●受注高（連結） ＜通信工事事業＞

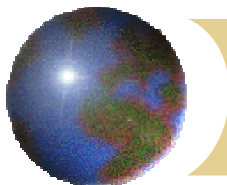


国内工事（増加）

- ・ 地上デジ 外放送、e-Japan関連への対応力強化
→下期後半より増加見込み
- ・ お客様対応力（価格、納期、品質）の向上
→プロジェクトマネジメント力の強化
- ・ コスト削減の更なる徹底
→原価低減活動の継続推進
- ・ 関係会社の強化

海外工事（減少）

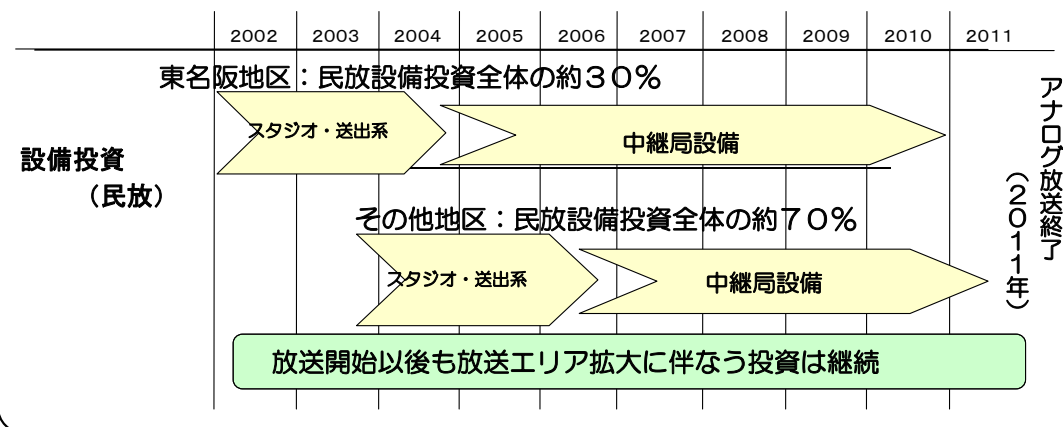
- ・ NECと一体となった受注活動
- ・ プロジェクトマネジメント力の強化



【参考】市場動向

・地上デジタル放送分野

地上波放送デジタル化スケジュール



地上デジタル放送関連市場の動向

①放送局数（民放：全国127局）

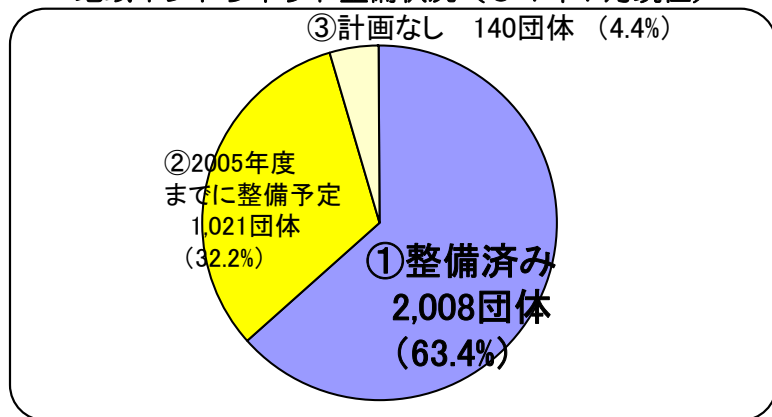
- ・ 地方局：99局
- ・ 東名阪：28局（ほぼ整備済み）

②設備投資総額見込み（東名阪含む）

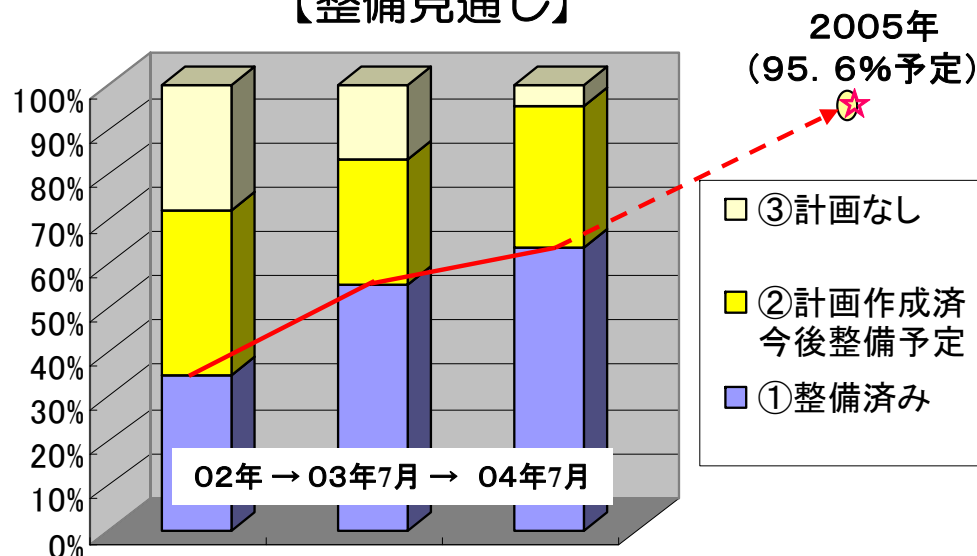
- ・ 民放：約8,000億円
- ・ NHK：約4,000億円

・自治体e-Japan分野

地域イントラネット整備状況（04年7月現在）



【整備見通し】





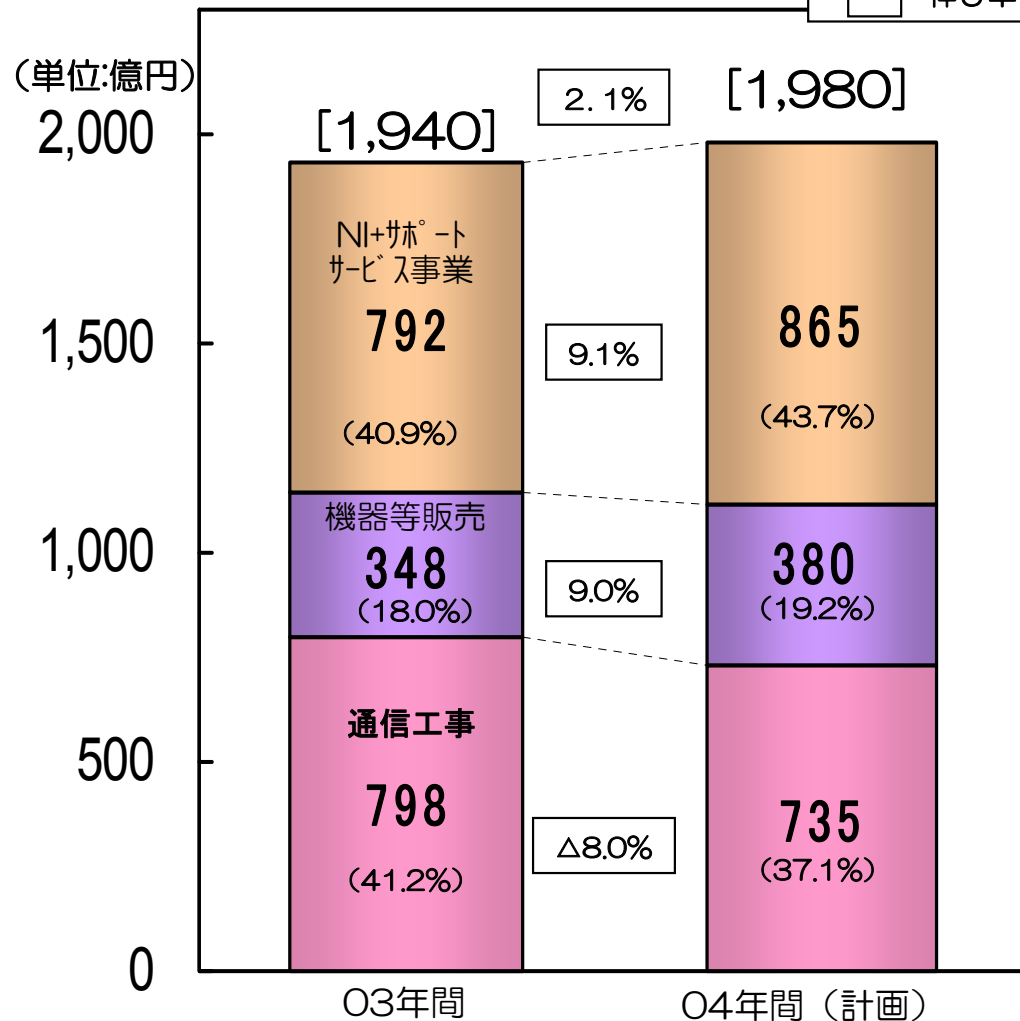
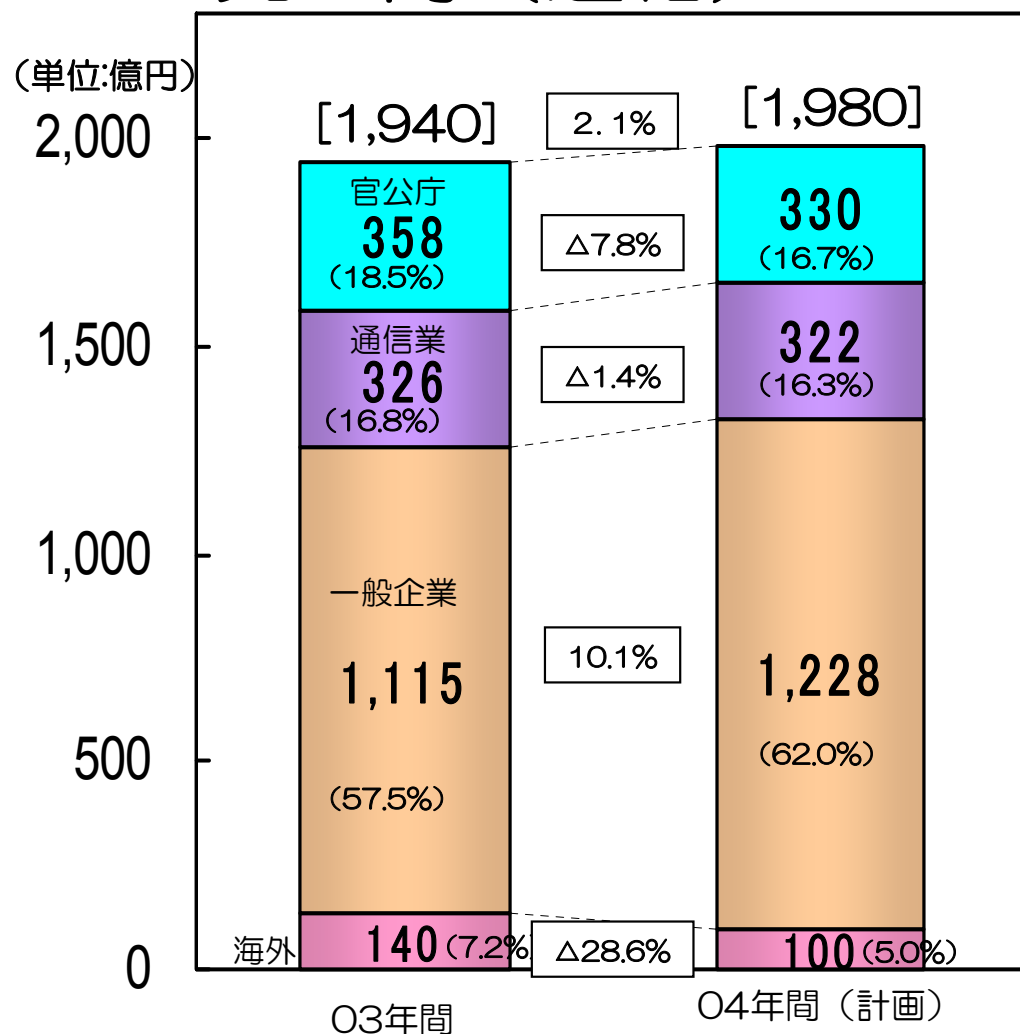
Ⅱ. 2005年3月期 売上高 (計画)

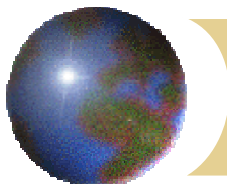
- ・NI・ネットワークサービス事業は一般企業向けNW構築の増加や、下期から見込まれるe-Japan関連により堅調。
- ・機器販売は、上期の大型物件の影響。
- ・通信工事事業については、国内は△5.5%減、海外は△27.0%と大幅減。

●売上高 (連結)

【国内伸び率 4.4%】

() 構成比
□ 伸び率





Ⅱ. 2005年3月期 通期業績見通し

● 損益計算書（連結）

（単位：百万円）（ ）は売上比

項 目	04年間 【計画】	03年間 【実績】	増減率 (前年比)	04年間 【当初計画】	増減率 (当初計画比)
受 注 高	206,000	196,123	5.0%	200,000	3.0%
売 上 高	198,000 (100.0%)	194,012 (100.0%)	2.1%	195,000 (100.0%)	1.5%
経 常 利 益	4,700 (2.4%)	4,376 (2.3%)	7.4%	4,400 (2.3%)	6.8%
当 期 利 益	1,130 (0.6%)	500 (0.3%)	126.0%	1,000 (0.5%)	13.0%

本資料についてのご注意

本資料（「2005年3月期（第73期）中間決算説明会資料」）に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績は様々な要因により記載の内容とは異なる結果となる可能性がある事を予めご承知願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業環境を取り巻く経済情勢・社会的動向、当社の提供するシステムやサービスに対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。